

上島町消防だより

上島町は僕らが守る！

11月7日～10日にかけて、各地区幼年消防クラブによる防火パレードを実施しました。

このパレードは、秋の火災予防運動の一環として、毎年この時期に実施しています。秋晴れのもと、小さな消防士たちの「火の用心！」の大きな声が地域中に響いていました。

～幼年消防クラブ防火パレード実施～



11月8日 魚島保育所



11月7日 生名保育所



11月10日 弓削保育所



11月9日 岩城保育所

野焼きの禁止について

最近、上島町

では、たき火による火災や「火災ではないか」との通報による出動が連続して発生し、パトロールも行っています。



皆さんは、廃棄物処理法の改正により、一部の例外を除いて野焼き（たき火）が禁止されているのをご存じですか。

次に上げる場合を除いて廃棄物の焼却は禁止されています。

①国又は地方公共団体が施設管理を行うために必要な廃棄物の焼却（川・道路等の清掃による草の焼却）

②災害予防、復旧対策のために必要な廃棄物の焼却（災害の応急対策や消火訓練等による焼却）

③風俗習慣上や宗教上の行事による焼却（とんど焼き等の焼却）

④農林漁業を営むためにやむを得ない焼却（焼き畑、剪定殻や漁網にかかったゴミの焼却）

⑤キャンプファイヤー等

違反すると…

3年以下の懲役若しくは300万円以下の罰金

科せられます

（廃棄物処理法第26条第8号）

例外とされているものでも、むやみに焼却してもよいというわけではありません。煙や臭いが近所迷惑にならないように配慮し、ダイオキシンの発生の原因となるプラスチック類の焼却はやめ、環境に対する配慮も忘れないようにしましょう。様々な事情や状況があるとは思いますが、焼却以外に適切な処理方法があるときは、安易な焼却は控えましょう。

また、消防署では空気の乾燥及び強風時など火災発生となる恐れのある場合は、消防法によりたき火等の中止を命ずることができることになっています。

町民の皆さんのご理解とご協力をお願い致します。

平成18年の出場件数

9月	火災	救急
今月	0	22
前月	0	46
前年比	0	▲24
累計	4	356

火災・救急 119番

消防本部 77-3166
消防署 77-4118



農業講座

しまなみ農業だより 農作物の冬期管理

今年は暖冬の予報がでていますが、これから本格的な冬を迎えます。農作物の多くは冬の寒さで休眠するものや寒さに耐えて生育するものなど様々です。冬の時期にしかできない作業もあります。今回は、農作物に応じた冬の管理のポイントを解説いたします。

【野菜】栽培管理

■防寒対策

収穫期を迎えている野菜類は防寒が必要です。大根やキャベツなどは寒さに強いのですが、ハクサイなどは外葉を紐で玉に結束してやると遅くまで畑に置くことができます。また、露地では成長しない野菜も透明ビニールのトンネル（図）を使えば栽培ができます。春採り大根（3～4月収穫）はトウ立ちの遅い品種を、レタス（苗を植える）や露地では太りの遅いホウレンソウなどの栽培もできます。

■春野菜の管理

タマネギは植えてから1ヶ月後に1回目の追肥を行います。追肥後は軽く除草を兼ねてくわで耕してやります。ソラマメは株もとから芽がたくさん出てくるので強い芽を6～8本残し、それ以外はのけてやります。株に土寄せをすると茎が倒れにくくなります。

（土作り）春まで何も栽培しない畑では、冬の間に堆肥や枯葉や鶏糞などを施用して深く耕して土を肥やしておくといよいでしょう。

【果樹】栽培管理

■防寒・鳥害対策

かんきつ品種の「はるみ」「せとか」「デコポン」「安政柑」などは、熟する2月～3月まで木に成らせておきますが、防寒と鳥害を防ぐため1個1個に紙袋（写真1）やサンテ（化学繊維の果実被覆資材）（写真2）、防鳥対策に網掛け（写真3）が必要です。温州みかんも果実の直径が6.1cm以下（S階級）の果実を1月半ばまで防鳥対策をして木にならせておくで大変おいしくなります（大玉を残すと浮き皮になるので注意しましょう）。

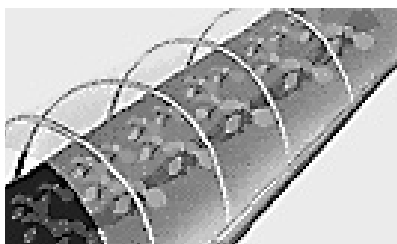


図 野菜のトンネル栽培



写真1 紙袋掛け



写真2 サンテ掛け

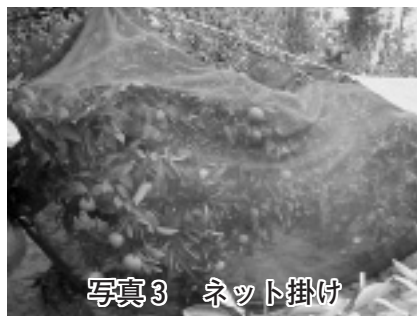


写真3 ネット掛け

■病虫害防除

収穫を終えたかんきつや落葉後の落葉果樹類、庭木などカイガラムシ（写真：柑橘に付くヤノネカイガラムシ）やハダニの越冬虫を対象に機械油乳剤の40倍を暖かい日を選んでいねいに散布してください。越冬害虫の重要な防除なので必ず散布してください。

■整枝・剪定

落葉果樹の多くは1月頃から、かんきつ類は3月頃からは整枝・剪定の時期となります。特につる性の果樹は、枝を切る時期が遅れると樹液が出てくるので時期が遅れないよう注意します。



ヤノネカイガラムシ

冬の管理をしっかりやっておくことで、来年の収穫につながります。これから本格的な寒い時期となりますので適期の作業に心がけてください。